

第8回知多半島地域医療連携推進協議会 要旨録

1. 日時 令和8年1月17日(土)14時から15時まで
2. 場所 知多半島総合医療センター 講堂
3. 出席者 出席者名簿のとおり
(構成員 37医療機関のうち
出席:17医療機関 委任:14医療機関 合計:31医療機関)
4. 協議会内容
 - (1) 開会あいさつ 知多半島総合医療センター 岡田院長
 - (2) 出席者挨拶
 - (3) 知多半島構想区域地域医療構想推進委員会の振り返り(資料1)
令和7年8月4日開催の「知多半島構想区域地域医療構想推進委員会」の内容について説明。
 - (4) 知多半島地域医療連携推進協議会協議題
 - ア. 知多半島りんくう病院の病棟編成について(資料2)
昨年4月の経営統合に伴う機能集約と患者需要の変化により、急性期患者が減少したため、病棟編成および許可病床数の変更について提案した。変更後の許可病床数は199床とし、67床を削減する。
一般病棟は1病棟の43床削減したため50床に変更。地域包括ケア病棟は移転先の病床数が41床のため4床削減し、37床に変更。回復期リハビリ病棟および特定感染症病床は変更なし。知多半島構想区域全体では、必要病床数推計に対して86床不足する見込み。
変更時期については2月5日の地域医療構想推進委員会で審議後、最短で本年3月1日を予定している。
出席者全会一致により承認された。
 - イ. 経営強化プランの変更について(資料3)
知多半島総合医療センターへの機能集約およびこれに伴う患者事業の変化に対応するため、知多半島りんくう病院の病棟編成および許可病床数の変更を行うもの。知多半島りんくう病院の病床数を令和8年3月1日以降、266床から67床削減し199床とする。営業収支比率の考え方に誤りがあったため、修正する。収支計画自体は機構が目指すべき経営指標として設定しているため、修正はしない。
出席者全会一致により承認された。
 - (5) 報告事項
 - ア. 救急患者連携搬送の現状について(資料4)
2025年12月1日時点で、知多半島総合医療センターと公立西知多総合病院の2施設が届け出を行っており、搬送元として役割を担っている。2024年6月から2025年12月までの総実施件数は866件。救急外来受診から搬送までの日数について、当日搬送38%、入院初日5%、入院2日目41%、入院3日目16%となった。患別割合では誤嚥性肺炎23%、尿路感染症15%、圧迫骨折21%。その他(肺炎、脱水、気管支炎、熱中症、インフルエンザ、骨折など)41%となった。知多半島医療圏における救急患者搬送および救急患者連携搬送は着実に実績を積み重ねており、地域医療連携において重要な役割を果たしている。今後も適

宜データを提供する意向を説明した。

イ. 小嶋病院 新病院開院について (資料持参)

新病院開院は2月1日。新病院は8階建てで、3階から8階の6フロアに40床の病床を配置しており、7階と8階が地域包括ケア病棟、5階と6階が障害病棟、3階と4階が透析病棟である。内覧会を1月24日、25日に予定しており、1階、3階、8階を見学できる予定。外来は従来の10%以下に縮小する方針。

(6) その他 特になし

(7) 閉会挨拶 副代表幹事 公立西知多総合病院 吉原院長